【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公開番号】特開2014-10045(P2014-10045A)
【公開日】平成26年1月20日(2014.1.20)
【年通号数】公開・登録公報2014-003
【出願番号】特願2012-146527(P2012-146527)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｐ　15/08　(2006.01)
Ｇ０１Ｐ　15/10　(2006.01)
Ｇ０１Ｃ　 9/06　(2006.01)
Ｇ０１Ｃ　19/5656　(2012.01)
Ｇ０１Ｃ　19/5663　(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｐ　15/08　Ｐ
Ｇ０１Ｐ　15/10
Ｇ０１Ｃ　 9/06　Ｅ
Ｇ０１Ｃ　19/56　１５６
Ｇ０１Ｃ　19/56　１６３

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月24日(2015.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
パッケージと、
前記パッケージの内外を貫通するリードフレームと、
前記パッケージの内部に配設された物理量検出器と、を備え、
前記リードフレームは、前記貫通する部分が前記パッケージに固定されている固定部と、前記固定部から前記パッケージの内側に延設されている自由端部と、を有し、
前記物理量検出器は、前記自由端部に固定されていること、
を特徴とする物理量検出デバイス。
【請求項２】
前記物理量検出器は、
基部と、前記基部に接続されている可動部と、を有するカンチレバーと、
前記基部と前記可動部とに掛け渡されている物理量検出素子と、を有し、
前記基部が前記自由端部に固定されていること、
を特徴とする請求項１に記載の物理量検出デバイス。
【請求項３】
前記自由端部は、折り曲げられた固定端部を有し、
前記基部が、前記固定端部が挿入されている貫通孔を有していること、
を特徴とする請求項２に記載の物理量検出デバイス。
【請求項４】
前記自由端部は、前記物理量検出器に当接している支持部を有していること、
を特徴とする請求項３に記載の物理量検出デバイス。

【請求項５】
前記カンチレバーは、前記カンチレバーの厚み方向からの平面視において前記可動部を囲む枠部を有し、
前記パッケージは、前記平面視において前記枠部と重なる領域に前記物理量検出器に当接する突起部が設けられていること、
を特徴とする請求項２ないし請求項４のいずれか一項に記載の物理量検出デバイス。
【請求項６】
前記リードフレームは、前記固定部から前記パッケージの外側に延設された折り曲げ部と、前記折り曲げ部より先端側に位置する外部接続端子部と、を有し、
前記パッケージの外側底面に設けられた固定端子部は、前記外部接続端子部と略同一の平面内に位置すること、
を特徴とする請求項１ないし請求項５のいずれか一項に記載の物理量検出デバイス。
【請求項７】
前記固定端子部は、前記外部接続端子部が設けられている前記パッケージの端部側とは反対側の端部に配置されていること、
を特徴とする請求項６に記載の物理量検出デバイス。
【請求項８】
請求項１ないし請求項７のいずれか一項に記載の物理量検出デバイスを備えていること、
を特徴とする電子機器。
【請求項９】
請求項１ないし請求項７のいずれか一項に記載の物理量検出デバイスを備えていること、
を特徴とする移動体。